

九州医師会連合会 令和7年度第1回連絡協議会



理事 稲富 仁

九州医師会連合会第1回連絡協議会

テーマ：「持続できるのか？地域医療介護提供体制と医療機関等の経営」

日時：令和7年9月27日（土）16：00～18：30

場所：グランドハイアット福岡

3階 ザ・グランド・ボールルーム

～次 第～

1. 開 会
2. 挨拶 一宮 仁 福岡県医師会副会長
3. 各県報告
 - 1) 鹿児島県
 - 2) 佐賀県
 - 3) 宮崎県
 - 4) 沖縄県
 - 5) 大分県
 - 6) 長崎県
 - 7) 熊本県
 - 8) 福岡県
4. 全体協議
5. 閉 会

令和7年9月27日、グランドハイアット福岡において、令和7年度第1回連絡協議会が開催された。本協議会はこれまで地域医療対策・医療保険対策・介護保険対策に分かれて協議されていた。今回は福岡県の提案により3つの部門会議を統合し、「持続できるのか？地域医療介護提供体制と医療機関等の経営」というテーマに絞り、初めて全体協議会形式で開催された。

はじめに、福岡県医師会の一宮副会長より次のとおり挨拶があった。

現在、人材確保の困難に加え、物価・賃金高騰により、医療機関等の経営はこれまで以上に厳しさを増している。全国各地で病床の削減や廃止、診療の縮小が発生し、ある日突然、医療機関がなくなる事態さえ起こっている。これはすでに地域医療の崩壊が始まっていると言っても過言ではない状況である。地域医療介護の提供体制を維持していくためには、医療機関等の安定した経営が大前提である。本日は、九州各県の現状を共有し、持続可能な提供体制構築に向けた政策提言について、自由闊達な議論をお願いしたい。現場の声を単なる苦言に留めず、日本医師会が国との交渉に有効利用できるような具体的な政策提言につなげていきたい。安定した経営基盤こそが、安心安全な医療の提供を支える医療機関の根幹である。本日の議論が、持続可能な地域医療介護提供体制の実現に向けた建設的な提言として、国の政策に反映される一助となることを祈念する。

つづいて、九州各県による報告が行われた。壇上には他県の重鎮の先生方ばかりでいささか心細いなかで報告を行った。沖縄県からは令和6年度に行った県内の医療機関の経営状況調査及び看護職員充足に関する調査を中心に現状報告し、医師会として物価高騰支援に対する県行政への働きかけや、北部地区医師会の看護学校の公立化についての好事例についての紹介を行った。少々時間が余ったので広報担当の立場より医師会のSNSの在り方について勝手ながら私見も述べてみた。やはり各県からは共通して、物価・人件費高騰、診療報酬の低迷、人材不足、後継者不在による閉院増加が深刻な課題として報告された。特に鹿児島県は離島の多

さと医師の高齢化、宮崎県は医師少数県として人材偏在が顕著、沖縄県は看護職員不足と利益減少、大分県は医師の意欲低下による閉院連鎖が問題視された。多くの県が事業承継支援や医療経営講座、経営調査などを実施し、銀行や自治体との連携を進めている。

日医および国への提言としては、①診療報酬へ物価上昇率を反映させる仕組みの構築②控除対象外消費税の解消③小規模医療機関へのDX導入支援④医療人材確保と地域枠・奨学金制度の強化⑤税制優遇・補助金制度の恒常化などが挙げられた。

各県による報告を踏まえた全体協議では、診療報酬と消費税問題に関する議論が中心となり、日医は現実的な対応として「補填分を維持した上、診療報酬内で確保する」方針を説明。地域医療構想の実現には財政支援と勤務医の理

解が不可欠との意見が出された。さらに、国民理解の醸成とメディア発信の重要性が強調され、沖縄県の「お笑い事務所との啓発活動」や大分・熊本の地域連携事例が紹介された。

最後に日医役員から、医療機関の赤字率が病院で7～8割、診療所で4割に達し、倒産が現実化している現状が報告された。物価上昇に即応する診療報酬の機動的改定、基本料の確保、補正予算の要望などを進めていくと締めくくられた。

※報告書の詳細につきましてはホームページをご参照下さい。

<https://www.okinawa.med.or.jp/medical/kaihou/houkoku/202303-2/>



お知らせ

日本医師会定例記者会見に関する周知

日本医師会では原則、毎週水曜日に定例記者会見を開催し、松本会長始め常勤役員が日本医師会の考えや取り組みなどについて説明しています。

その模様は下記の広報物に掲載していますので、ぜひご覧下さい。

■ 日本医師会公式
YouTube チャンネル



■ 日本医師会ホームページ
「日医 on-line」



問い合わせ先：日本医師会広報課 E-M:kouhou@po.med.or.jp

■ 沖縄県医師会公式
YouTube チャンネル



■ 沖縄県医師会ホームページ

